

事業所名

放課後等デイサービスpono

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

1月

6日

法人（事業所）理念	ponoとは、「自身の心と身体が健やかでいること」という意味が込められています。子どもたちみんなが笑顔で過ごせる場所を作ります。				
支援方針	集団運動療育と、必要に応じて個別療育活動を実施しています。 ご家庭・保育園・学校・相談支援専門員・行政等と連携しながらお子様ひとりひとりに寄り添い支援しています。				
営業時間	10時	0分から	17時	0分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活スキル（着替え・整理整頓・手洗い等）の習得を支援します。 ・食育として手作りおやつを提供をし、調理の過程を経験してもらいます。種から農作物を育て、収穫し、食を営む力の育成と楽しい食事への配慮を支援します。 ・運動活動で日中活発に身体を動かし、健康状態の維持や睡眠リズム等、生活リズムの形成の支援をします。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・集団運動療育で、跳ぶ・走る・体幹を鍛える等の基礎体力の向上と運動能力を養います。体幹を鍛える事で、机へ向かう姿勢保持や集中力の持続に繋がります。 ・机に向かって手指活動をする時間を設け、指先の巧緻性を促します。 ・集団活動のメニューの中に、粗大運動と微細運動を取り入れ、活動を通し、力の強弱の入れ方等、発達の土台作りにつなげます。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・1日のスケジュールを可視化し、自ら見通しを立てて行動できるように支援します。 ・制作活動で、色・形・数・空間認知の理解を高めます。 ・集団運動の中で、ルール性のあるものを取り入れ、ルール理解を高めます。 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・個々のレベルに応じた言語の学習支援や、絵カード・SOSカードの活用、ちくちく言葉ふわふわ言葉の反復SSTを行います。 ・集団の前で発表する機会を設け、自分の気持ちを言葉で他者に伝える能力や、自分とは違う意見・考え方を知り、受容し認める事が出来るように支援します。 ・子ども同士だけで話し合い、決める機会を設け、コミュニケーション能力の発達を促します。 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・小グループでの活動を取り入れ、リーダーや書記等の役割分担をして頂き、責任感やリーダーシップを養います。 ・外出の機会を設け、挨拶、交通ルール・お金の支払い方法・公共の場で順番を待つ等の公共マナーや社会性を身につけます。 			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の学校と連携を図ると共に、事業所での様子を送迎時にお伝えさせていただきます。 ・必要に応じて、定期的な面談を実施し、ご家族のニーズの把握に努めます。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・就学に向けて、保育園や学校職員との連携をします。 ・必要に応じてサポートブックの作成をします。 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・公園や図書館など地域の施設に出かけ、地域の人や場所と触れ合えるように支援します。 ・地域の事業所と連携をし、地域の中の一般の方と触れ合う機会を設けています。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・療育実践研修やスタッフ間でのロールプレイングをします。 ・勉強会・毎日の活動後のフィードバックをします。 ・定期的な法定研修やzoom研修を実施しています。 		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとのイベント：お花見、クリスマス会、餅つき、豆まき、巻きずし作り、運動会、ハロウィン、バレンタインチョコ作り、初詣等 ・その他イベント：屋外学習、トランポリンハウス、お買い物体験、交通マナー教室 				